



平成27年度愛知県地域包括ケアモデル事業報告会

豊明市における 地域包括ケアモデル事業（2年目）の取組 （医療・介護等一体提供モデル）

藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター
都築 晃

UR 都市再生機構 中部支社 住宅経営部ストックシア編事業チーム
伊藤 宏泰

愛知県豊明市 健康福祉部 高齢者福祉課
松本 小牧



1 はじめに 地域包括ケアをめぐる潮流

地域包括ケアとは：2つのコンセプト

統合ケア (integrate care)

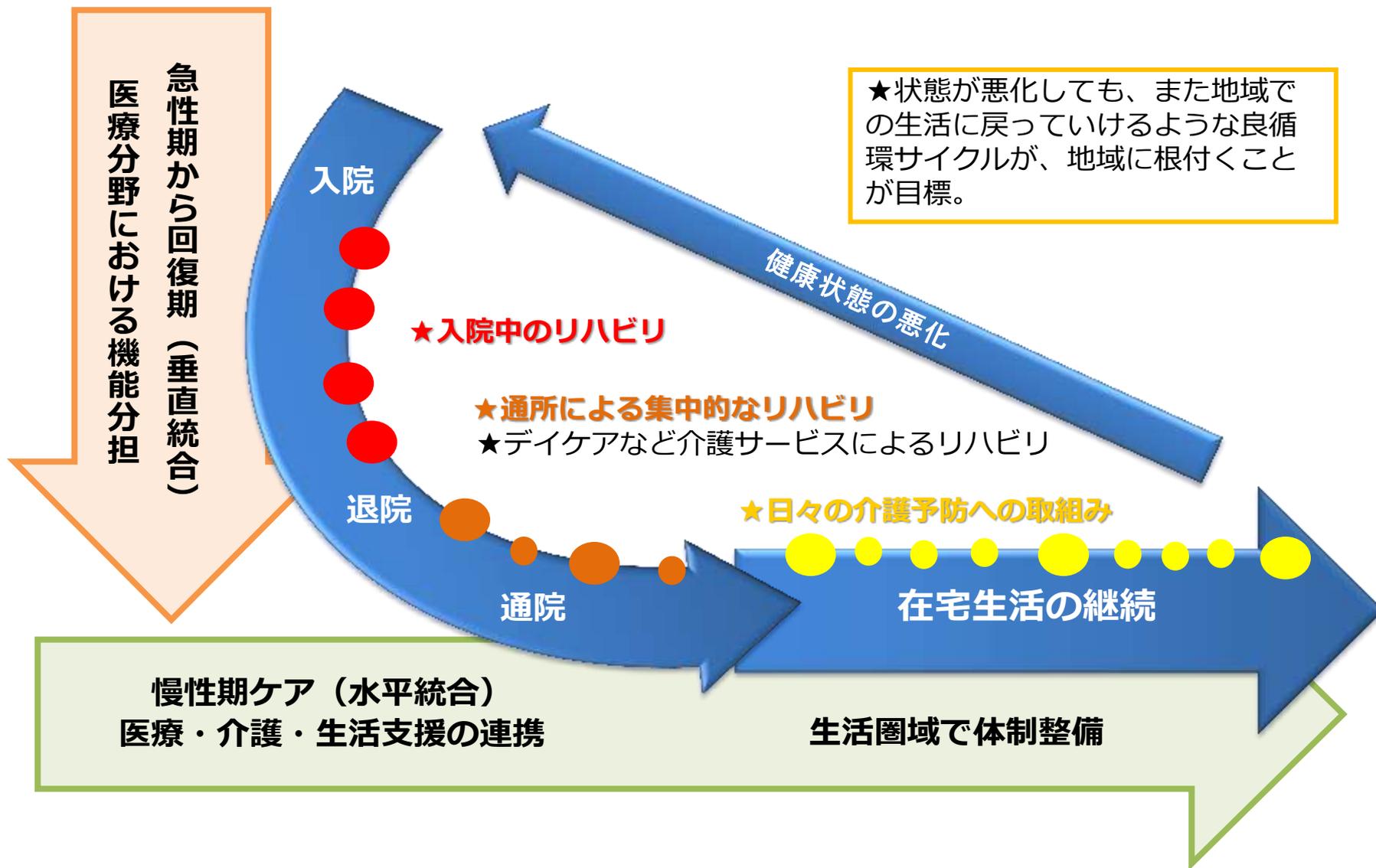
- 診断・治療・ケア・リハビリテーション・健康増進に関連するサービスの提供、組織をまとめる概念

地域を基盤とするケア (community-based care)

- 地域の健康上のニーズ、健康に関する信念や社会的価値観にあわせ、地域社会による参画を保証しながら構築されるケア

**高齢者ケアに関わる様々な利害関係者を巻き込み、
新しい価値観や目指すべき方向性を共有し統合していくことが重要**

垂直統合と水平統合





2 地域分析～ 豊明市の概況

豊明市の概況

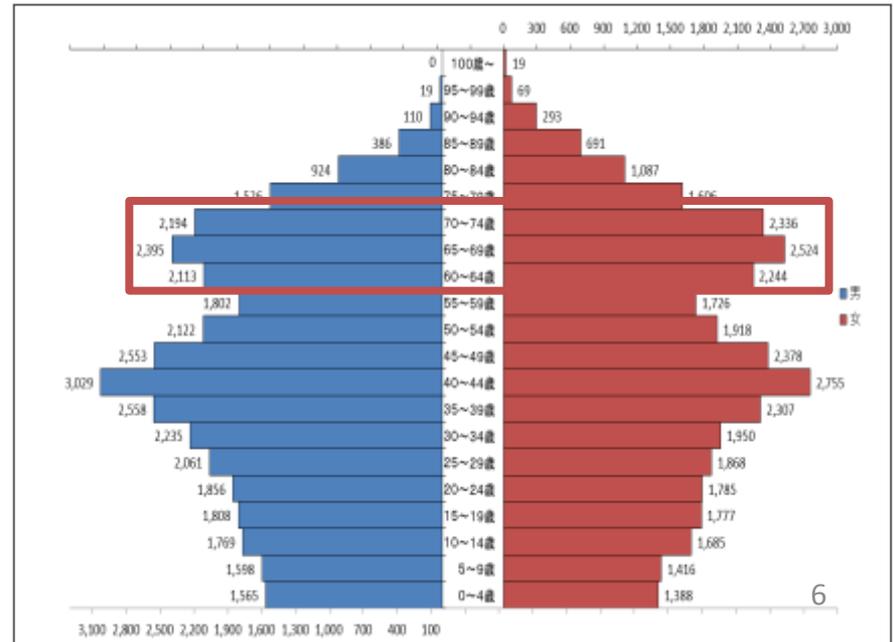
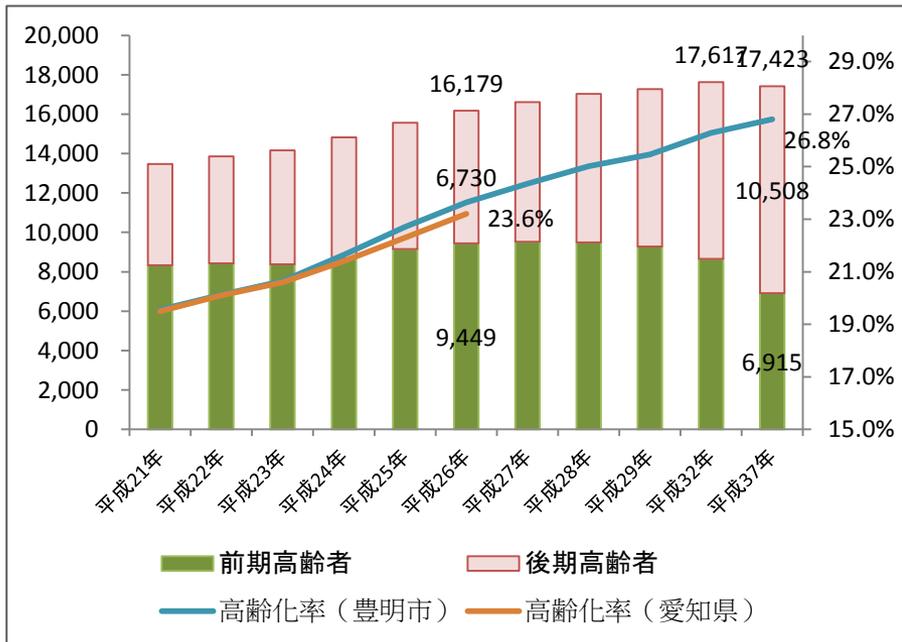


・愛知県のほぼ中央に位置する名古屋市のベッドタウン。

・人口 68,609人 (28,718世帯)
 高齢者人口 16,720人
 (平成27年10月1日現在)

・高齢化率 **24.3%** (県高齢化率より高い)

・人口構成は、前期高齢者に人口に山があり、
 今後 10年間の後期高齢者の伸びが著しい。



豊明市の医療・介護資源

医療資源

病院 3（一般病床1,435、回復期床0、療養28）

藤田保健衛生大学病院、豊明栄病院

桶狭間病院藤田こころケアセンター

診療所 39、歯科 39、薬局 25、訪看 5、訪りハ 4

関連師会

- ◆医師会 : 東名古屋豊明市医師会
- ◆歯科医師会 : 愛豊歯科医師会豊明支部
- ◆薬剤師会 : 日進東郷豊明薬剤師会

介護資源

特別養護老人ホーム 4（259床）

老人保健施設 2（448床）

訪問介護 5、通所介護 11

小規模多機能居宅介護 1

認知症対応型共同生活介護 4（5ユニット）

定期巡回随時対応型訪問看護介護 1

居宅介護支援事業所 13

地域包括支援センター 2（委託）

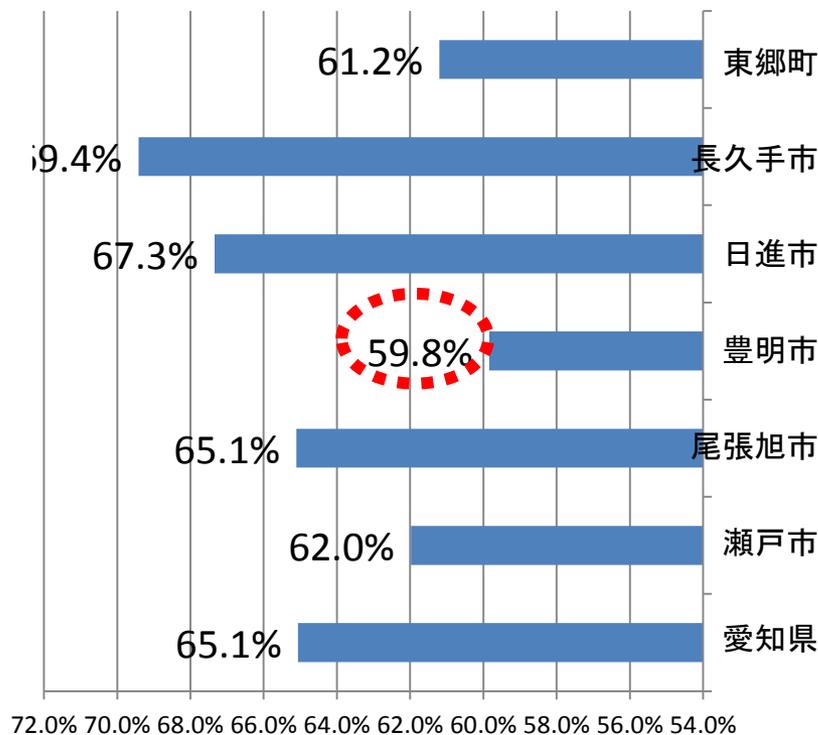


藤田保健衛生大学病院

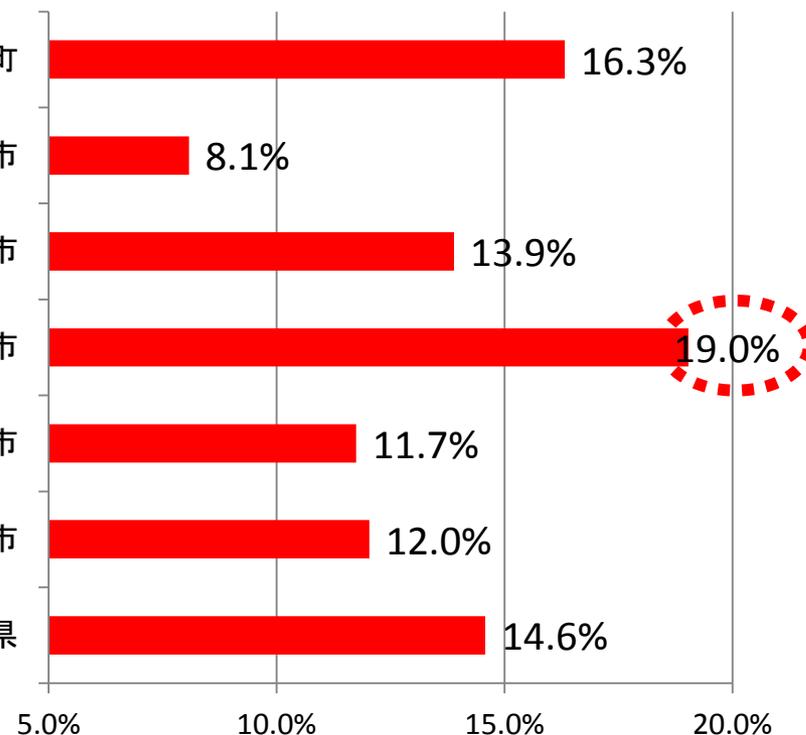
許可ベッド数	:	1,435 床
平均在院日数	:	15,2 日
平均外来患者	:	約 2,100 人/日
医療従事者	:	約 2,600 人
年間手術件数	:	約 11,000 件
退院調整依頼	:	1,500 件/年

1つの医療施設としては我が国最多を誇る病床を持つ厚生労働省が定める特定機能病院

在宅サービス



施設サービス

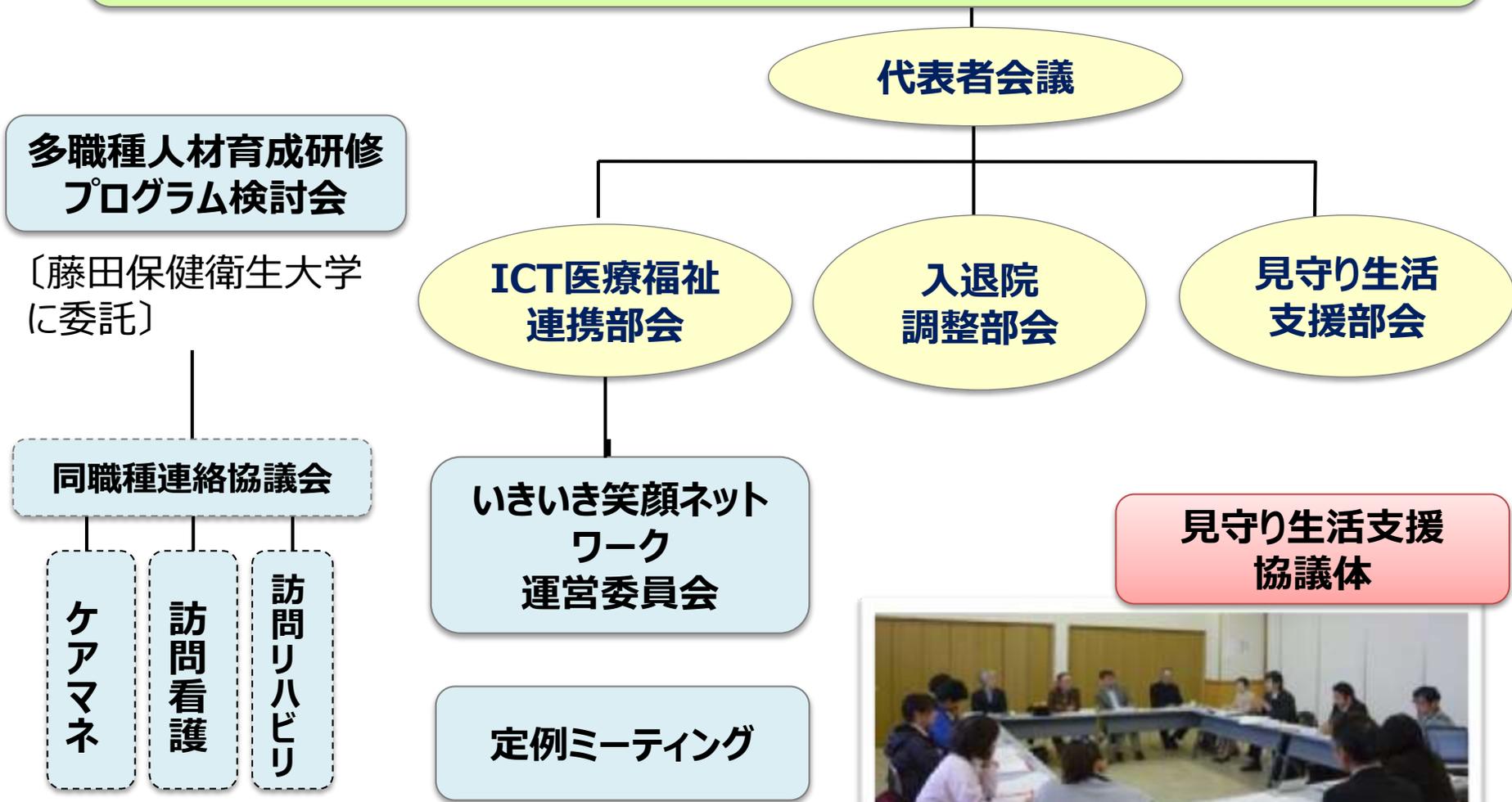


参照) 平成26年9月月報

利用者数÷認定者数で算出。

豊明市は在宅サービス利用率が低、施設サービス依存が高。

豊明市地域包括ケア連絡協議会





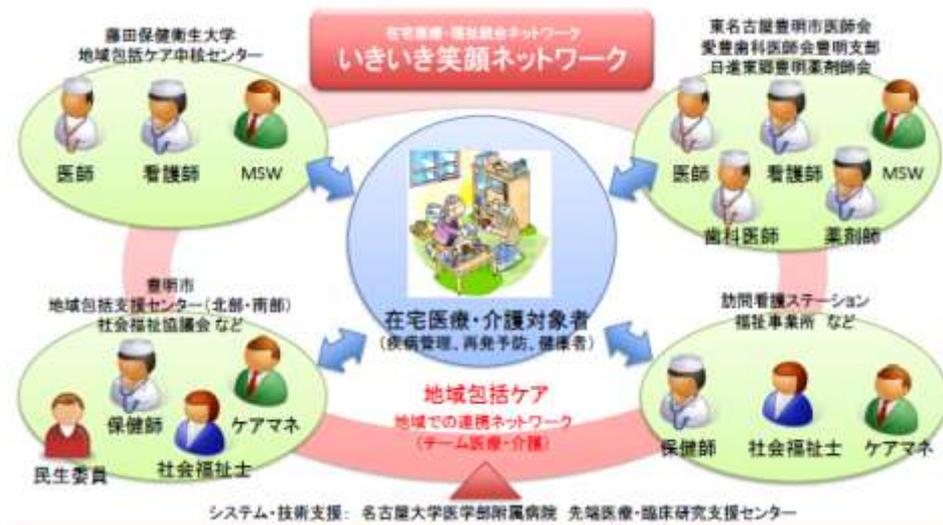
3 垂直統合（医療介護連携）

統合ケア（専門的ケアの有機的連携）

いま取り組んでい
ること

- ◇ICTは介護保険新規申請時に全例同意取得
- ◇他職種人材育成と地域専門職組織化
- ◇個別ケースの入退院介護移行を追跡調査

◇ ICTは介護保険新規申請時に全例同意取得 (いきいき笑顔ネットワーク)



リハビリ療法士は上限1分間の動画アップ可能に。
ADL動作や運動の情報共有拡大。

ケアマネ、看護師、リハなどで早期に新規チームを立ち上げる必要性あり

行政にてあらかじめ介護保険新規申請時に同意をもらっておく

介護保険申請時に行政にて全例同意を取る

医師以外からでもチーム立ち上げ可能

迅速な情報共有、利用増、スピードアップ

◇多職種人材育成事業① 合同研修会の開催

平成25年度から実施。

平成26年度

- ・プログラム検討会 2回
医療福祉多職種による検討会議
- ・研修会 4回
がん療養、認知症、在宅歯科、薬剤支援、
CKD等の講演、グループワーク懇親会、
- ・同職種勉強会 2回
ケアマネ、訪問看護、訪問リハビリ

平成27年度

- ・プログラム検討会 2回
- ・研修会 2回
第1回「退院支援」
第2回「リハビリの連携」
- ・同職種組織化支援 2回
第1回 代表者会
第2回 合同研修会



連携し、課題解決へ



2013年 **地域資源把握**

- ①大学病院MSW ②認知症 ③大学病院リハ

懇親会は、
毎回開催

地域資源と特徴の確認

2014年 **地域の顔把握 グループワーク中心**

- ①がん ②認知症 ③在宅薬剤・訪問歯科 ④慢性腎臓病

地域の特徴的疾患への研修と、
顔の見える関係は完成

2015年 **連携と市外の医療現状把握**

- ① 周辺市の中核病院における退院連携の現状と課題把握
- ② リハ連携(急性期～回復期～在宅)

互いの立場事情の把握と課題抽出

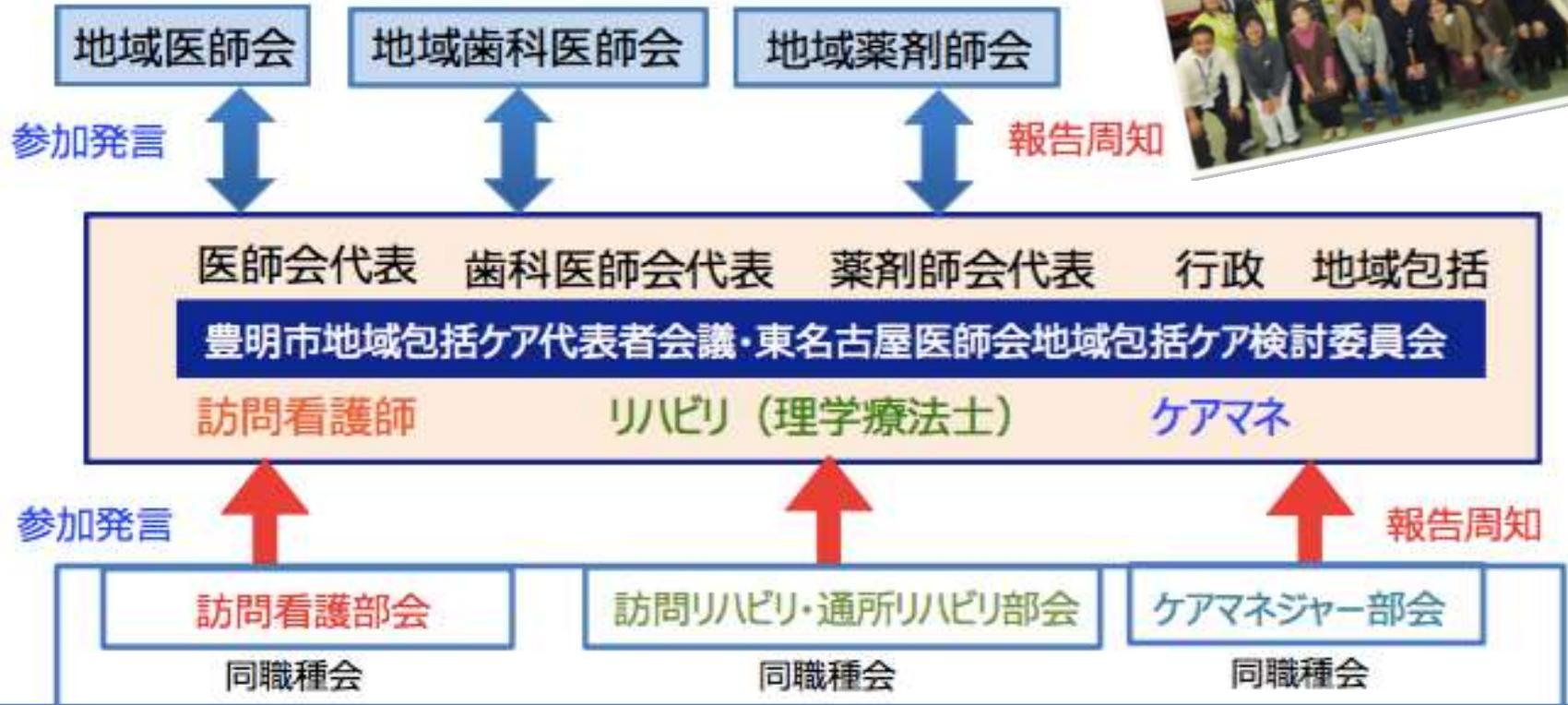
2016年の課題

個別ケースを追うことで立場の壁が超えられる

◇多職種人材育成事業② 地域の職能団体組織化

- 職種ごとの同職種会設立。
- 代表者選出。同職種代表者は会議発言と、同職種会で会議結果報告の役割。
- 同職種共通課題の対策検討、3職種合同研修会開催。

地域組織あり



地域の同職種代表者として、出席・発言し、決定事項の拡散

豊明市 3専門職の組織化

H28.1～

豊明市看護連絡協議会

豊明市ケアマネ連絡協議会

豊明市リハビリ連絡協議会

会議開催

随時

2ヶ月に1回

週に1回



今後、
東郷、日進、
長久手
と協議へ

豊明市H28,3～ 新総合支援事業移行

C型集中支援 通所と訪問事業について、周知、評価基準、内容の統一作業中

市内全体の専門職としての意識統一と決定が迅速になった

◇入退院調整部会における政策研究①

平成27年度 退院支援地域連携実証事業（概要）

平成27年度退院支援地域連携実証事業

<事業目的>

本実証事業におけるケース支援を通じて、退院調整や在宅療養の移行にかかる課題、医療介護連携の在り方、支援に必要な各機関の役割等を検証する。

<取りまとめ期間>

平成27年7月1日～11月30日分

<対象ケース>

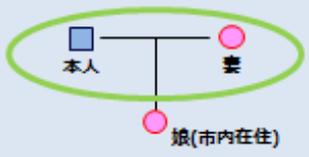
- ①保大HP入院中で、新規介護保険申請者・・・27件
- ②医療連携福祉相談部に相談のあった困難ケース・・・0件

急性期病院からの患者動向を追跡調査。
どこに連携の課題があるか？

退院支援地域連携実証事業 ケース2 入退院を繰り返したケース

■ケース概要(No.8)

- ・ 本人状況 Bさん 89歳男性 妻と2人暮らし
入院経緯：誤嚥性肺炎 (7/26～)
- ・ 介護申請 申請者：娘(市内在住) 申請日：7/31
※ケースワーカーより勧められ申請
- ・ 診療科 保大HP消化器内科



■申請時、娘さんからの聞き取り

- ・ 病院でリハビリ中。リハビリを受けて歩けるようになるという。
- ・ 住宅改修も必要かも知れないと思っている。
- ・ 前立腺肥大による排尿障害がある。

■認定調査結果 (一部抜粋)

	身体機能 (ADL)				生活機能 (IADL)		
	○できる	△つかまれば可	×できない		○自立	△一部介助	×全介助
着脱		△		移動		○	
起き上がり		△		移動		良守0等	
座位保持		△		嚥下		良守0等	
立位保持		○		食事摂取		良守0等	
歩行		△		排泄・排便		×	
立ち上がり		△		洗濯		△	
				着脱		△	

退院後、介護施設、再入院、在宅、悪化、再々入院....

入退院を繰り返す理由を検討。今後工夫できる点や課題を共有、抽出する。

退院支援地域連携実証事業 ケース2 入退院を繰り返したケース

■入院から現在までの動向と支援状況

居場所	保大HP			自宅		保大HP		自宅		保大HP		相主山HP
	・入院	・申請	・調査	・退院	・認定	・再入院	・退院	・再入院	・退院	・再入院	・認定	・転院
日付	7/26	7/31	8/11	8/13	9/1	9/26	10/8	10/29	12/7～			
経過日数	0日	5日	16日	17日	35日	60日	72日	93日	101日～			
本人状況	・誤嚥性肺炎				・妻介護2	・誤嚥性肺炎			・誤嚥性肺炎		・嚥下訓練	
本人・家族支援				↑ 8/14 ・包括訪問	↑ 8/17 ・包括訪問 →居宅紹介 ☆居宅サービス開始		↑ 10/8 ☆居宅サービス					

個別事例を基本に考えることで、法人経営ではなく、患者利用者目線で、市や地域全体で課題と対策を捉えることができる。

◇ 入退院調整部会における政策研究②

豊明市民の入院状況（平成27.7入院診療分）



・藤田保健衛生大学病院の占める割合は、47.5%
 ・市外で連絡の多い相生山病院、辻村外科病院、第一なるみ病院、南生協病院に、140人(23.9%)が入院。

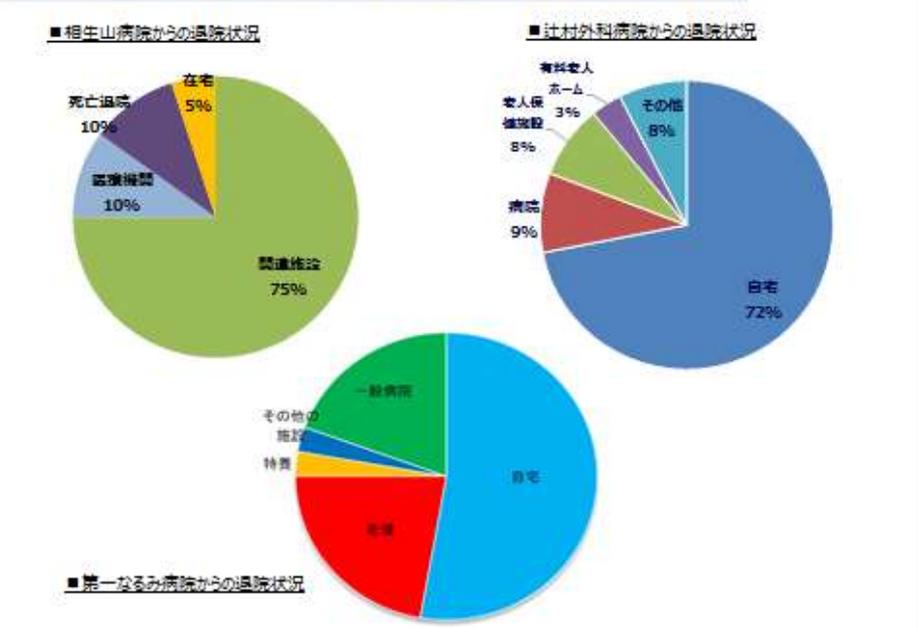
市内の入院・通院患者動向を分析。
 連携すべき医療機関はどこか？

対象（医療機関・診療科目）を絞って連携を進めることが効率的ではないか。

豊明市と関係の深い医療機関の属する、近隣市町の医療機関状況

二次医療圏	市	一般病床数		回復期病床数		地域包括ケア病床		療養病床数
		病床数	人口10万人当たり	病床数	人口10万人当たり	病床数	人口10万人当たり	
尾張東部	豊明市	1,505	2,139	0	0	0	0	28
名古屋	緑区	1,016	424	50	21	109	46	106
名古屋	南区	1,566	1,128	215	155	94	68	317
西三河東部西	刈谷市	820	554	102	69	0	0	519
※参考：愛知県		45,326	607	4,037	54	1,226	16	14,187

関連の深い医療機関との連携（平成27年度多職種協働人材育成研修資料より）



H28年2月14日(日曜日) 会場:日進市民会館 主催:東名古屋医師会

「地域包括ケアを考える尾張東部地域サミット」

瀬戸、尾張旭、長久手、日進、東郷、豊明首長らのディスカッション



行政トップの旗振りと広域連携による地域包括ケアへの足がかり



4 水平統合（コミュニティケア整備）

地域ケア（ケアの主体としての地域基盤整備）

目指す姿：コミュニティごとに高齢者の暮らしを支える組織体制がある

いま取り組んでいること

- ①自治会役員、老人クラブ等へ働きかけ
- ②地域介護予防活動支援
- ③地域見守り生活支援活動立ち上げ支援
- ④地域福祉組織（協議体）の組織化支援

◇自治会・老人クラブへの働きかけ

①出前講座・地域への説明

平成27年度実績 38回
(4月～12月末実績)

内容：

- ・地域（町内会）ごとの高齢化率
- ・独居率・高齢者世帯数
- ・地域の変化、今後の見込み
- ・地域サロン・運動教室のすすめ
- ・生活支援組織の先進事例

東沓掛の地区と年代別の比率(27.4.1)

東沓掛	人口	～10歳	20～54	65～74	75～	65～
菅王子	298	29.5%	44.0%	16.4%	10.1%	26.5%
西田	201	21.9%	49.0%	16.9%	11.4%	
上高根	633	19.3%	49.3%	18.3%	13.1%	
下高根	455	21.8%	51.4%	14.1%	12.7%	
小沢	343	23.6%	49.0%	14.0%	13.4%	
中川	312	22.1%	53.0%	12.0%	11.2%	
東沓掛計	2542	22.1%	49.5%	16.0%	12.4%	
豊明市計	68,481	16.9%	59.5%	13.0%	9.8%	
日本	126,600,000	17.2%	56.0%	13.0%	13.0%	



27区別人口と高齢化率トップ10 (27.4.1)

区	人口	65以上	高齢化率	75以上	高齢化率	65～74歳	75歳以上
1 大森	1932	894	46.3%	313	17.0%		
2 (65歳未満)	1724	555	32.2%	227	13.2%	28	1.6%
3 二村田7	1681	512	30.5%	244	14.5%	61	3.7%
4 二村田4	764	219	28.7%	103	13.5%	10	1.3%
5 東高根	2530	719	28.4%	313	12.3%	44	1.7%
6 二村田2	952	289	30.4%	120	12.6%	30	3.2%
7 西	2345	642	27.4%	303	12.9%	74	3.1%
8 藤原	2321	627	27.0%	238	10.3%	51	2.2%
9 大森	2828	759	26.9%	380	13.4%	68	2.4%
10 二村田5 (空地)	1411	408	29.0%	141	10.0%	108	7.7%
豊明市	68664	15474	22.5%	7008	10.2%	1718	2.5%



②リーダー養成

地域リハビリテーション活動支援事業の一環として、リハビリ専門職と県の健康づくりリーダー修了生らがオリジナル体操を開発

◇地域介護予防活動支援

①地域サロン

17地区 (H26)→37地区 (H27)
地域サロン等へリハビリ専門職等の派遣、活動交付金の交付、立ち上げ・運営プログラム等のサポート



②まちかど運動教室

新総合事業の目玉として、一般介護予防事業としてH28から実施。
会場、運営は地元負担、講師を市から派遣。地域の活動に弾みをつける

サロンの空白地域（主に市街化調整区域）で開催となる予定



